



今回は、「ママ目線、子供の安全について」についてのお話です。

家庭内事故の39.2%はなんと0～4歳までのお子様。家庭内事故の発生場所は「居間」「台所」「階段」「浴室」の順に多くなっています(1999 国民生活センターの資料より)。これらの家庭内事故を予防するママ目線、子供の安全について今回は考えてみます。

家庭内事故を予防する対策

居間	居間は、子供が長い時間過ごす場所なので誤えん事故を防ぐようタバコやコイン、医薬品など手の届かない場所に収納するようにしましょう。コルクなど転倒防止として滑りにくい床やクッション製の高い床材にしたり段差を解消する。また、クローゼットの折れ戸は指はさみ防止機能のものにするのもおすすめです。
台所	キッチンには包丁、炎、熱湯、洗剤など子供にとって興味深いものがある魔の危険地帯。安全柵を設けて近づけないようにするのが手っ取り早い対処法。ロック付きの包丁収納やコンロ、火の出ないIHクッキングヒーターもおすすめです。家事をしていてもお子様の様子が見守れる対面式キッチンだと安心です。
階段	階段は転落・転倒の危険があります。階段への侵入防止ゲートを設けることが一番です。階段の踏み面を滑りにくくする、コルクなどクッション製の高い素材もおすすめです。
浴室	浴槽への転落事故を防ぐには、浴室の鍵をかけておくのが一番。常に水を抜いておけば安心です。滑りにくい洗い場や浴槽、洗い場で向かい合って体が洗える楽しいシステムバスも登場しました。

お子様にやさしい商品



折れ戸は閉めるときに面材のすき間に手を挟む危険があります。「ハサマナイズ扉」は指がまったく入らないよう、折れる部分に可動式のフィラ材が付いています。(パナソニック)



「とおせんぼ」



「スマートゲイト」

キッチン入口や階段など危険な所への侵入を防ぐ安全柵。つっぱりタイプで取付簡単。(日本育児)

キッチンの包丁は子供には危険です。シンクの前垂れ部分を利用して包丁差しを格納できる「ママポケット」。ロックが収納の奥の方につけてあるのも安心です。(トステム)



子どもから目を離さずに向き合って洗えるフリーテーブルや子どもがはしゃいでもすべりにくい洗い場や浴槽を装備した「hairo」。子供を見守れるので安心です。(クリナップ)

お気軽にお問い合わせ下さい！

 **0120-312-341**



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部